

# 山の日情報

(第 21 号)

令和元年8月22日

秋田県生活環境部  
自然保護課

## 【活動記録】

7月21日に乳頭山において、今年1回目のボランティアによる整備作業を行いました。作業には、角館高校山岳部、大曲高校登山部、大曲工業高校ワンダーフォーゲル部のほか、南八幡平地区パークボランティア「ホシガラスの会」など、合計で44名の方々が参加してくれました。多くの人数が集まったため、高校生は田代平避難小屋の外壁塗装を、「ホシガラスの会」など社会人は、避難小屋の外壁補修や登山道の整備を行うことになりました。

実は、田代平避難小屋の外壁塗装は昨年も行ったのですが、古くなった外壁に予想以上に塗料が吸収され、残念ながら外壁すべてを塗ることができなかったのです。

今年はそのリベンジに燃え、昨年の2倍の量の塗料を持って避難小屋に向かいました。昨年よりも荷物が重くなっているはずですが、普段からトレーニングしている高校生はさすが、ものともせず登っていきます。荷物が少ないはずの私たちが置いて行かれるほど…



(↑ 昨年の塗装跡がある小屋)

避難小屋には予想よりも早く到着することができ、いざ作業開始です。「ホシガラスの会」の皆さんが、外壁の補修を行うとともに、高校生が着々と塗装していきます。汚れないようカップを着ての作業のため、暑さとの戦いにもなりましたが、時折飛び



(↑ はがれかけた外壁の補修)



(高所の塗装は継ぎ柄を使用↑)

散る塗料に声を上げながら、楽しんで作業に取り組んでくれました。

こうした頑張りの甲斐あって、お昼頃には避難小屋全体の塗装が完了。見事、昨年のリベンジを果たすことができました。2年越しの目標達成に、喜びもひとしおです。

(塗装した小屋の前で記念撮影→)



一方、「ホシガラスの会」の方々は、避難小屋の外壁補修を行った後、蟹場コースから下山しつつ、登山道の整備を行っていただきました。秋田県にはたくさんの登山道があるため、こうしたボランティアの方々の活動は本当にありがたいことです。

「快適に山に登ることができるのは、当たり前のことではない。その陰には、こうした地道な活動をしてくださっている方々がいる。」ということを中心に留めて、これからも登山を楽しんでいきたいですね。



(↑登山道の木道の修理)



(↑登山道に伸びてきた草の刈払い)

このボランティア事業は、「山の日」が制定された平成28年度から始めた事業で、今年で4年目を迎えました。ボランティア作業への参加をきっかけに、山の環境や安全などについて考える機会にもしていただけると、とても嬉しいです。

暑い中でしたが、参加者の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

毎年参加していただいている学校や団体さんも多く、とても心強いものでした。またの機会がありましたら、ぜひご参加ください。